

メキシコ新政権

政情不安回避が課題

対外債務返済の姿勢示す

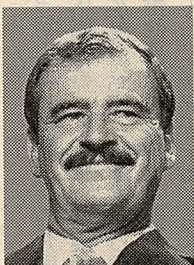
【メキシコ市3日＝宮川政明】メキシコは、二日の大統領選挙で国民行動党（PAN）のフォックス前...

セディジョ現政権は、一九九四年に世界経済を不安に陥れたメキシコ発の金融危機を経験した。通貨ペソ相場に悪影響を及ぼす政情不安を回避することが、新政権の至上課題だ。

セディジョ大統領は、開票作業真っただ中の二日夜、「フォックス氏と電話で話し、あらゆる面で協力することを約束した」と早々と政権移行作業に言及...

ニエースの顔

メキシコ・コカ・コラのセールスマンからたき上げて、社長に上の詰めたのが約二十五年前。米ハーバード大学経営コースでも学び、経営術に磨きかけた。得意先を開拓した武器は、キャッチフレーズを執らうに繰り返す巧みな話術だった。



メキシコ大統領選挙で当選したヒセンテ・フォックス氏

この武器が、制度的革命党（PRI）の打倒に威力を発揮した。PRI批判一本やりの選

る。九四年の北米自由貿易協定（NAFTA）発効や、昨年の欧州連合（EU）との自由貿易協定交渉合意などを機に、欧米社会は経済のパートナーとしてのメキシコの民主主義の成熟度...

中部グアナフアト州の農場育ち。一九五〇の長身にカウボーイブーツが似合う。遊説のトレードマークになった。国民行動党（PAN）では本流ではなかったが、一九八八年に下院議員に当選し、九五年にはグアナフアト州知事に...

両親はメキシコ生まれに限るとした憲法条項は、九〇年代に片方の親だけでいいことに改定され、道は開けていた。離婚し、現在独身。四人の子どもはいずれも養子。選挙運動に参加した長女アナクリステイナさん（三〇）は、幸せな自分の養子体験をもとに人工中絶よりも養子縁組の効用を説いた。中絶を認めない親カトリックの党風に沿う援護射撃だった。投票日に五十八歳になった。（メキシコ市＝宮川政明）

視点



権威主義か 平和的、合法的に政党内で政権が交代するのは、メキシコでは初めてだ。より重要なのは、政治体制全体の改革が避けられないという点だ。この七十一

「芸術は、私たちの現実とのいかかわりを変えるか」「正義を貫くことと自由を求めることは両立するか」 六月にフランスであったバカロレア（大学入学共通資格試験）の必修科目、哲学の論文問題の一部である。受験生は四時間もかけて解答を書き上げる。「さすがフランス」といっているところだが、高校の哲学の先生に聞いてみたら「優秀な生徒が集まる有名校は別にして、普通の高校生がともに答えられるわけではないでしょう。だいた

特派員メモ